

平成26年2月13日

各 位

会社名            **アクシアル リテイリング株式会社**  
コード番号        8255 東証第1部  
代表者            代表取締役社長            原    和彦  
問合せ先        専務取締役執行役員        山岸 豊後  
TEL    (0258) 66-6711

(訂正・数値データ訂正)

「平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)の  
一部訂正に関するお知らせ」

平成26年2月4日に公表いたしました「平成26年3月期 第3四半期決算短信」〔日本基準〕(連結)の記載内容に一部誤りがありましたので、下記のとおり訂正いたします。また、数値データにも訂正がありましたので、訂正後の数値データも送信いたします。

なお、訂正箇所は      を付して表示しております。

記

1. 訂正の理由

四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関連して、記載の訂正を行うものであります。

2. 訂正の内容

【添付資料】5ページ ① 当四半期決算に関する定性的情報 (2) 連結財政状態に関する定性的情報 ② 連結キャッシュ・フローの状況

(訂正前)

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は62億68百万円となり、前年同期に比べ44億52百万円増加(前年同期比245.2%増)いたしました。

これは主に、当第3四半期連結累計期間における新規出店3店舗と在庫保管型物流センターの建設により、有形固定資産の取得による支出が前年同期に比べ44億26百万円増加(前年同期比319.8%増)したことによるものであります。

(訂正後)

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は23億99百万円となり、前年同期に比べ5億83百万円増加(前年同期比32.1%増)いたしました。

これは主に、当第3四半期連結累計期間における新規出店3店舗と在庫保管型物流センターの建設により、有形固定資産の取得による支出が前年同期に比べ44億26百万円増加(前年同期比319.8%増)したことによるものであります。なお、株式会社フレッセイホールディングスとの株式交換により、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入が36億54百万円発生しております。

【添付資料】 11ページ 3 四半期連結財務諸表 (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(訂正前)

(単位 百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
~~~~~		
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額 (△は増加)	△0	-0
有形固定資産の取得による支出	△1,383	△5,809
有形固定資産の売却による収入	156	120
無形固定資産の取得による支出	△64	△151
貸付けによる支出	△7	-13
貸付金の回収による収入	28	20
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	-	△214
その他	△544	-219
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,816	△6,268
~~~~~		
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,200	3,187
現金及び現金同等物の期首残高	6,713	5,790
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	-	3,868
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,913	12,847

(訂正後)

(単位 百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
~~~~~		
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額 (△は増加)	△0	-0
有形固定資産の取得による支出	△1,383	△5,809
有形固定資産の売却による収入	156	120
無形固定資産の取得による支出	△64	△151
貸付けによる支出	△7	-13
貸付金の回収による収入	28	20
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	-	3,654
その他	△544	-219
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,816	△2,399
~~~~~		
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,200	7,056
現金及び現金同等物の期首残高	6,713	5,790
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,913	12,847

以上